

第10回

自治体政策 経営研究会



自治体職員限定
(参加費無料)

テーマ

地方創生とSDGs

SDGsの理念をどのように総合計画に具現化し展開するか

日時

2019年8月30日(金) 13:30~17:00

(13:00開場)

会場

中野サンプラザ 7階 研修室13
東京都中野区中野4-1-1 中野駅北口徒歩2分

懇親会
17:30~
会費制

第一部

「2030年の未来をかえる17の目標「SDGs」

高木 超 氏

(慶應義塾大学政策・メディア研究科特任助教)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「鎌倉市におけるSDGsの理念を取り入れた総合計画策定の取り組み」

比留間 彰 氏 (鎌倉市共創計画部長)

第二部

パネルディスカッション

コーディネータ

佐藤 徹

(高崎経済大学地域政策学部教授)

パネリスト (五十音順)



高木 超 氏

(慶應義塾大学特任助教)



田中 充 氏

(法政大学社会学部教授)



比留間 彰 氏

(鎌倉市共創計画部長)



増原 直樹 氏

(総合地球環境学研究所上級研究員)

【参加申込・お問合せ】自治体政策経営研究会(高崎経済大学・佐藤徹研究室)

8/26(月)正午までに、下記のアドレス(こくちーず)に、①ご氏名、②ご所属、③ご連絡先、④懇親会の出欠等を入力してください。申込みの先着順で定員になり次第受付終了。

<https://kokucheese.com/event/index/571479/>

第二部 パネルディスカッション

パネリスト(五十音順)



高木 超 氏

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特任助教 / SDGs-SWY 共同代表

NPO や民間企業を経て、2012 年から大和市役所の職員として住民協働、厚木基地問題、待機児童対策を担当。17 年 9 月に退職し、渡米。クレアモント評価センター・ニューヨークの研究生として「自治体における SDGs のローカライズ」に関する研究を行うほか、国連訓練調査研究所 (UNITAR) とクレアモント大学院大学が共催する「SDGs と評価に関するリーダーシップ研修」を日本人で初めて修了。2019 年 2 月から現職。鎌倉市 SDGs 推進アドバイザーのほか、ミレニアル世代を中心に SDGs の達成に向けて取り組む団体、SDGs-SWY の共同代表も務める。



田中 充 氏

法政大学社会学部教授

東京大学大学院修了、川崎市役所勤務を経て 2001 年 4 月より法政大学に着任。

現在、中央環境審議会委員のほか東京都・埼玉県・神奈川県等の地方自治体審議会等の委員を務める。



比留間 彰 氏

鎌倉市共創計画部長

1984 年 4 月、鎌倉市役所入庁。古都保存、都市計画行政に携わり、1998 年から横浜市 (都市デザイン室) に派遣。鎌倉市に復帰後、景観行政、広報、企画・政策行政に携わり、現在に至る。



増原 直樹 氏

総合地球環境学研究所 研究部 上級研究員

1998 年から環境自治体会議事務局に 15 年勤務。その間、付属の NPO 環境政策研究所理事長・副所長、法政大学大学院非常勤講師等を兼務。博士 (工学、大阪大学)。近著に『地熱資源をめぐる水・エネルギー・食料ネクサス』(近代科学社)。



佐藤 徹

高崎経済大学地域政策学部教授

大阪大学大学院国際公共政策研究科修了。博士 (国際公共政策)。自治体勤務を経て、高崎経済大学地域政策学部専任講師に着任。助教授 (准教授) を経て、現職。同大学地域政策研究センター長、情報基盤センター長等を歴任。専門は行政学、地方自治論、公共政策学、自治体経営論。内閣府、総務省、自治体等の委員やアドバイザーをはじめ、2012 年から「自治体政策経営研究会」を主宰し、全国の自治体職員とともに実践的研究や交流を重ねている。

コーディネータ